

2025年度 名古屋芸術大学 入学試験問題  
総合型選抜 B方式(実技・小論文型) 3期

## 入試問題

試験科目:「小論文」

日 程:2025年2月8日(土)

試験時間:50分 / 解答字数:800字程度

芸術学部 芸術学科 芸術教養領域

対象コース: リベラルアーツコース

### [課題]

下は、2024年7月3日に発行された新紙幣について書かれた新聞コラムです。以下を読み、下の問に答えてください。

3日、新紙幣が発行された。肖像画に選ばれたのは渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎の3人。マーケティングの視点から見て、新札に描かれた人物たちがこれからの未来に与える影響は非常に大きい。

人間の顔は想像以上に人の行動を左右するからだ。広告テストをするとそれは明らか。人の顔が入った広告は顔がない広告より反応率が高い。<中略> 紙幣にも顔が入ることで視覚的な訴求力が増し、信頼性が上がる。

同様に、新札に描かれた人物たちも我々国民に強い印象を与え、彼らが功績を残した分野が未来に向けて活発になることが予想される。見ている人は知らず知らずのうちにその分野の知識が付き、自分の仕事においても影響を受け始める。

新札が象徴する分野とは何か。渋沢栄一は500社以上の事業を創業し、そのうち300社が現在も存続する「連続・社会起業家」だ。彼の事業開発と起業の精神は、新しいビジネスモデルやスタートアップの創出を促し、若者たちに多様なキャリアパスを提供する。唱えた「道徳経済合一説」も広まり、今後は社会起業家が非常に注目を集めるだろう。

津田梅子は6歳の時に岩倉使節団で米国に留学し、日本婦人米国奨学金や、津田塾の元である女子英学塾を設立した、女子エリート教育の象徴だ。彼女の教育理念がSTEM教育やギフト教育の普及を後押しし、身分にとらわれない実学重視の教育や奨学金による教育格差是正がトレンドになるだろう。

北里柴三郎は近代医学の父であり、細菌学で多大な功績がある一方、「医の基本は予防にあり」という信念があった。彼の顔は感染症対策だけでなく、予防医療の重要性を強調し、ウェルネスプログラムや地域医療の充実に寄与するだろう。

一方で、今回の新札発行で面白いのは、デジタル通貨の普及により紙幣の象徴的な影響力が相対的に弱まることだ。デジタル通貨は顔がなく鏡のようなものなので、個々のユーザーがペルソナとして機能し個人の力が増すことになる。

すると、あらゆる分野でのパーソナライゼーションが加速する。例えば人工知能(AI)やビッグデータ解析技術を活用することで、適切な消費行動や効率的な資産運用が可能になるだろう。

<中略>

結論として、新札とデジタル通貨の共存は、経済活動のデジタル化と個性の尊重を両立させる新時代をもたらす。この変化が我々一人ひとりに新たな可能性と発展をもたらす工夫を積極的に推進していきたい。

日経 MJ『神田昌典の未来にモテるマーケティング 新札とデジタル通貨の共存 個人・社会の幸福 問う時代に』(日本経済新聞社) 2024年7月22日版 3頁より引用(文章内の下線で示した加筆、及び<>で示した省略は引用者による。)

### 問1 (80点)

この新聞コラムの趣旨を300字程度に要約してください。あなた自身の感想や批評などは入れないこと。

### 問2-1 (問2-1と問2-2の合計120点)

あなたが、未来において発行される新札に掲載されるとよいと思う人物の氏名を書いてください。

### 問2-2

その人物を選んだ理由(社会的な業績、優れた点、魅力など)と、その人物が新札に掲載されることによって、どのような分野の活動が活発となり、社会にどのような影響を与えることが予測されるか400文字程度で書いて下さい。

(日本の紙幣に限らず、海外の国の紙幣に掲載される人物を想定することも可とします。また、歴史上の物故者<既に亡くなった人物>だけではなく、現代の社会で活躍する人物を選ぶことも可とします。)

### [出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

現役の高校生を想定した「総合型選抜 B方式」という入試形態をふまえ、下の項目の関心の度合いや力をみるため。

<学んできたことを踏まえた思考・発想・言語化の力(自らの発想と知恵を活用できる基礎力)>

- ・芸術教養の学びやアドミッションポリシーを理解したうえで論述できているか。
- ・他者の意見を参考にしたうえで、画像やシステムが社会に与える影響について考える力があるか。
- ・抽象的な事柄をふくむ内容をどの程度、言語化できるか。

<基本的な日本語運用力と思考の客観性>

- ・出題文や、問題文の意味を読み取れているか。
- ・感想を交えず要旨を客観的に記述できているか。
- ・事実(問1)と思考・分析(問2)を区別し記述できているか。

AP:音楽、美術とデザイン、現代の多様な文化と社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかし、地域と社会がかかえる課題を、協働して解決していく意欲のある人を求める。